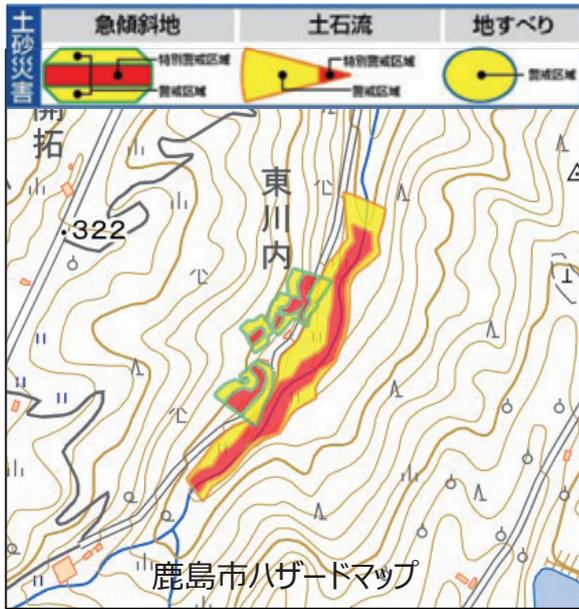


ハザードマップで命を守る (佐賀県鹿島市)

事業者：佐賀県鹿島市

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例



土砂災害警戒区域等の住民への周知状況



対策名：No.93 土砂災害対策のためのソフト対策に関する緊急対策

事業名：土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害対策の推進（防災・安全）

- ポイント**
- 土砂災害ハザードマップを作成し住民に土砂災害の危険性を周知
 - がけ崩れが発生したものの、住民は事前に避難しており人的被害を免れた

地域の概要・課題

佐賀県鹿島市の土砂災害警戒区域は平成31年3月に区域指定が一通り完了しました。

土砂災害の危険性をなるべく早く住民の皆様にお知らせするため、3か年緊急対策により、土砂災害ハザードマップを整備しました。

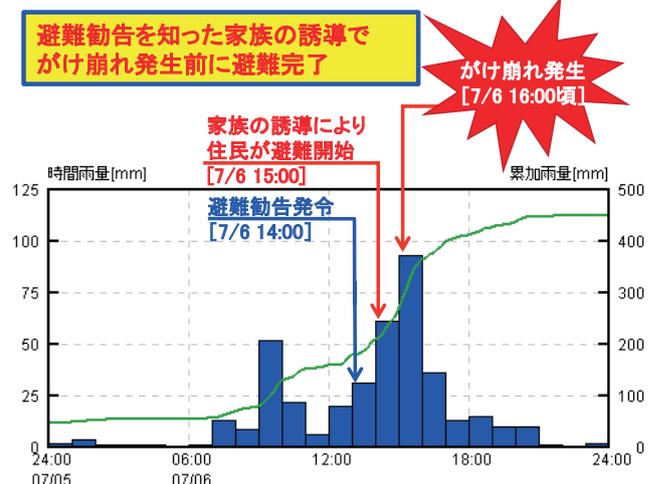
事業の概要

佐賀県鹿島市では、3か年緊急対策として、令和2年3月までに土砂災害ハザードマップの作成を完了させ、住民の皆様様に配布しています。

今後は、避難所や土砂災害警戒区域の見直しなどがあつた場合に、記載内容の変更を行っていきます。

効果

令和2年7月豪雨によりがけ崩れが発生し、家屋1棟が全壊しました。しかし、ハザードマップで実家の危険性を認識していた隣町に住む家族が、当該家屋の住人を事前に避難させたため、人的被害を免れることができました。



I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化

I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

I-3 避難行動に必要な情報等の確保